

地域と共に生きる大貫っ子を目指して ～防災教育の視点から、「命を守る教育」の充実を図る。～



茨城県東茨城郡大洗町立大貫小学校



I 概要

大洗町

面積 23平方キロメートル

人口 18,328人

特色 中学校2校, 小学校3校

太平洋に面した地域性を活かした産業(漁業, 観光業)が盛んである。

大貫小学校は？

全校児童:227名

実家庭 176家庭

特色 3世代で生活している家庭が多い。

漁業を営む家庭は、ほとんどない。

両親共に働いており、学童保育に通っている児童が多い。



Ⅱ 大洗町の教育

【海をのぞみ 未来を拓く 大洗っ子の育成】



【大洗町教育基本計画】

施策1:豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳)

施策2:確かな学力を身に付ける教育の推進(知)

施策3:健康な心と体を育てる教育の推進(体・情)

施策4:学校・地域・家庭の連携

(保幼小中連携・PTA・学地連携)

Ⅲ 大貫小学校の取組から

1 教育目標

「一人ひとりの良さを生かし心身ともに健康で
自主性・創造性・協調性に富んだ感性豊かな
児童の育成」



2 大貫小を取り巻く状況

1) 学校における児童の様子

- 学年を超えて、児童会活動や縦割り班活動などを仲良く協力してできる。
- 学校行事や各教科・領域の活動において、児童一人一人が工夫をしながら、活動する児童が多く見られる。

2) 学校における課題

- 教師と児童だけでは、学校教育活動の中における広がりに限界がある。
- 地域の方やPTAの協力がないと大きな行事の運営が難しい。

3) 地域や学校の願い

- * ○ 地域の中で、心身ともに豊かな人間性をそなえ生きていくための児童を育てていきたい。
- 地域とのかかわりを大切にし、児童一人一人が大貫小学区の中で、目的を持って努力する児童に育てたい。



3 主題設定の理由

学校教育活動の中における取組から



行事や各種活動を通して、人間関係を広げる。

縦割り班や当番活動など様々なかわりを大切にし、思いやりの心を育てる。

※課題：人間関係の固定化(学年単学級)学童などで生活することが多いので地域とのかかわりが希薄になっている。



4 取組の視点

学校と地域との連携を図りながら、学校教育活動を活性化させる。

児童を取り巻く環境の中で、様々な視点から見直し、学校行事の充実を図る。

地域の方々との交流を通して、地域を大切にし地域に役立つ大貫っ子の育成を目指す。

5 取組の方向性と実践（例年）

【地域との連携を図りながら子どもの心を育てる活動】

①児童の活動から

教科指導と地域との連携
例) 図工風鈴作り(商工会)



②朝の活動から



立哨指導(地域・PTA・学校)

③学校地域連絡協議会の活動から

米作り



山野草を楽しむ会



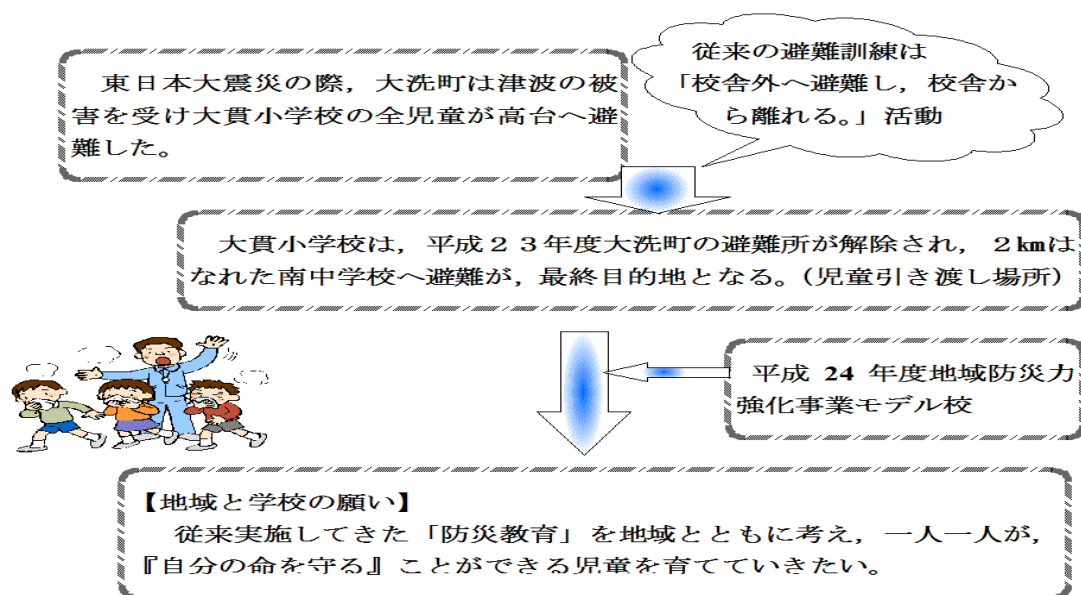
ひまわりの会



ライフセービング

6 学校教育活動における改善点(H24)

【防災教育を地域と共に推進し、児童一人一人が、「命を守る教育」を主体的に取り組む力を育てる。】



7 防災教育の視点

- 防災についての意識を高める。
(全校児童対象)
- 自分の命を守る意識を育てる。
- 地域とのかかわりを大切にしながら、防災教育を進めていく。

8 今年度の具体的な取組から

～地域防災力強化事業～

①防災教室 I

防災教育の意識づけとしての活動を学校・家庭・地域とともに考え、今後の活動の導入とする。

消防との連携で、応急処置や煙体験活動の体験



防災教室の様子から



②避難訓練・引き渡し訓練

- 従来の避難訓練から、地域の協力を得ながら、最終避難場所の南中学校へ避難引き渡し訓練



③移動防災教室Ⅱ

- 自然災害を体験し、災害から命を守るためにどのようなことをしたらよいかを地域の方と共に考える。

3. 4年生と地域ボランティアの方と交流をしながらの活動

